

公明 内海委員 [コロナ禍における雇用対策]

問 1 次に (コロナ禍における雇用対策)

厳しい雇用情勢が続くコロナ禍では、将来が見通せず、就職活動に不安や悩みを抱える方が少なくないと聞く。こうした方々が1日も早い就職活動に踏み出し、就職に結びつけるためには、気軽に相談できる場を設けるとともに、相談された方が就職されるまでしっかりと支援していくことが必要だと考えます。

このたび、OSAKAしごとフィールド内に「コロナ禍での求職者向け特別相談窓口」を開設するとのことですが、その目的と内容について伺います。

答弁

(就業促進課長)

- コロナ禍における就職活動に不安や悩みを抱える方が、就職活動に踏み出し、1日も早い就職に結びつくためには、1人1人の状況に応じた支援を行うことが必要と認識。
- そこで、コロナ禍での求職活動や転職活動について、電話やWEB面談により気軽に相談できる相談窓口をOSAKAしごとフィールド内に開設する。
- 窓口では、相談者のニーズに合わせて、OSAKAしごとフィールドで実施するキャリアカウンセリングやセミナー、府緊急雇用特設サイト「にであう」のスキルアップ講座やオンライン企業説明会など、就職につながる最適な支援メニューについて丁寧に紹介し、その利用を促していく。

- 各メニューの利用者については、各自の状況に応じて継続的にカウンセリングを行うなど、就職決定まで必要な支援を行う。
- こうしたことを通じ、コロナ禍での就職活動をサポートし、速やかな就職につなげてまいる。

問2（女性向け相談会の実施）

相談から就職まで、丁寧に支援できる仕組みがあることは、コロナ禍で就職活動に不安を抱く方が次の一歩に踏み出すために重要。ぜひしっかりと取り組んでいただきたい。

コロナ禍では、非正規雇用労働者が多い女性の雇用状況は悪化したままであり、引き続き支援をしていくことが必要。

先日、ドーンセンターで開催された女性活躍の応援イベント「ドーン de キラリ 2days」では、働く女性やこれから働きたい女性の方々が抱えるいろいろな悩みについて、専門機関の相談員が対面で相談に応じる相談会が実施されており、このような対面でじっくりと相談できる場は大変重要であると感じました。

OSAKAしごとフィールドでは、女性を対象とした、働くための悩みを相談できる相談会を令和3年度は拡充して実施するとのことだが、その内容について伺う。

答弁（就業促進課長）

- コロナ禍で、女性をめぐる雇用環境は大きな影響を受けており、働くことについて様々な悩みを抱えておられる方は増えているとみられる。こうした方々をサポートしていくため、気軽に相談できる場に加えて、対面で掘り下げた相談ができる場も重要であると認識。
- そこで、令和3年度は、対面で相談できる相談会をこれまでより大幅に拡充し、毎月開催することとする。
- 相談会は、育児と仕事との両立など、月ごとにテーマを決めて実施する予定で、OSAKAしごとフィールドのカウンセラーに加え、テーマに合わせ、他の女性就業支援機関の協力による相談員も対応する。
- また、働く女性を対象としたセミナー等を併せて開催し、より効果的に就職に向けた支援を行ってまいります。